

第5回 公開講座 「心をはぐくむ絵本のお話し」

2024年1月23日（火）、第5回公開講座「心をはぐくむ絵本のお話し」を実施しました。当日は、11組の親子さんをご参加くださいました。

テーマ：心をはぐくむ絵本のお話し

日時：2024.1.23（火）

担当：広島文化学園短期大学

保育学科教授 末次絵里子

【臨床心理士・公認心理師】

絵本は心を豊かに耕すたからもの

【抱っこ・スキンシップ】、【お母さんの声】、これらも絵本と一体になって、子どもの心を育んでいく。



《絵本の紹介など》



《絵本etc.》

絵本に関するアンケートを事前に行ったところ、困っていることとして複数あげられていたのが、「読み聞かせをしても、最後まで聞いてくれない」というお悩みでした。これに対しては、まずは絵本を「読み聞かせる」というより、お子さんとかかわりあいの一つのツールとして用いること、そのための具体的な活用についてお話ししました。また、親御さん自身が、絵本の世界、お話しの世界に触れることで心が癒され、希望が湧いてくるといった、大人にとっての絵本の意義などについても感じ取っていただけるよう、話を広げました。さらに、保育学科2年生の学生2名による、子どもさんたちへの読み聞かせも行いました。学生たちは、少し緊張しながらも、親子の絆を深める一助になればと、読み聞かせの意義を考えながら取り組みました。

【参加された方々の感想】

- ・絵本を読み始めたら最後まで読まないといけな
いと思っていたので、「絵本を通して子どもと
触れ合う」ことを何より大切にして、楽しめば
いいのだな、ということがよくわかりました。
- ・成長するにつれて、絵本を読む回数が減ってい
たので、あらためて、子どもと一緒に絵本をた
くさん読みたいと思いました。
- ・絵本のある暮らしはすてきだなと思いました。
- ・絵本を遊びのツールとして取り入れる、これを
実践していきたいです。



《お母さんたちが熱心に聞いてくださる様子》



《学生による読み聞かせの様子》

【講座を終えて】

乳幼児期はあっという間に過ぎていきます。たくさん抱っこして、優しいお母さんの声をたっぷり聴かせていただきたいと思います。すてきな絵本を通して、あたたかい親子の触れ合いを、心ゆくまで積み重ねていかれることを願っています。

（文責：末次 絵里子）